

食料・農業・農村政策審議会家畜衛生部会 第108回牛豚等疾病小委員会 議事概要

1. 開催日時及び場所

日時：令和7年10月6日（月）14：00 ～ 16：00

場所：農林水産省共用第二会議室（対面・WEB会議形式による併催）

2. 出席委員及びオブザーバー（50音順、敬称略）

臨時委員：砂川富正、津田知幸

専門委員：入江正和、内村江利子、菅野宏、國保健浩、佐藤真澄、嶋田誠司、
長井誠、山本健久

オブザーバー：呉克昌、迫田義博

3. 会議の概要

豚熱について、ワクチン接種農場における肥育豚等（哺乳豚・離乳豚・肥育豚）の殺処分範囲の見直しについて議論。

これまでの発生事例で得られた知見を踏まえ、免疫が成立していないと考えられる「ワクチン未接種豚」、「ワクチン接種後20日以内の豚」、「発育不良に陥った豚」及び「臨床症状を呈しており、PCR陽性となった豚」のみを殺処分すれば、他の肥育豚等を殺処分の対象から除外したとしても、繁殖豚と同様、全頭殺処分と比して伝播リスクは変わらないとされた。

一方で、こうした選択的殺処分の実施に当たって必要となる具体的なリスク管理措置については、その詳細な内容及び運用について更に検討することとされた。

今後、法制度の見直しの要否についても検討を行った上で、選択的殺処分の導入及びリスク管理措置の実施に当たり、豚熱に関する特定家畜伝染病防疫指針の見直し等、所要の手続きを進めていくことが妥当とされた。